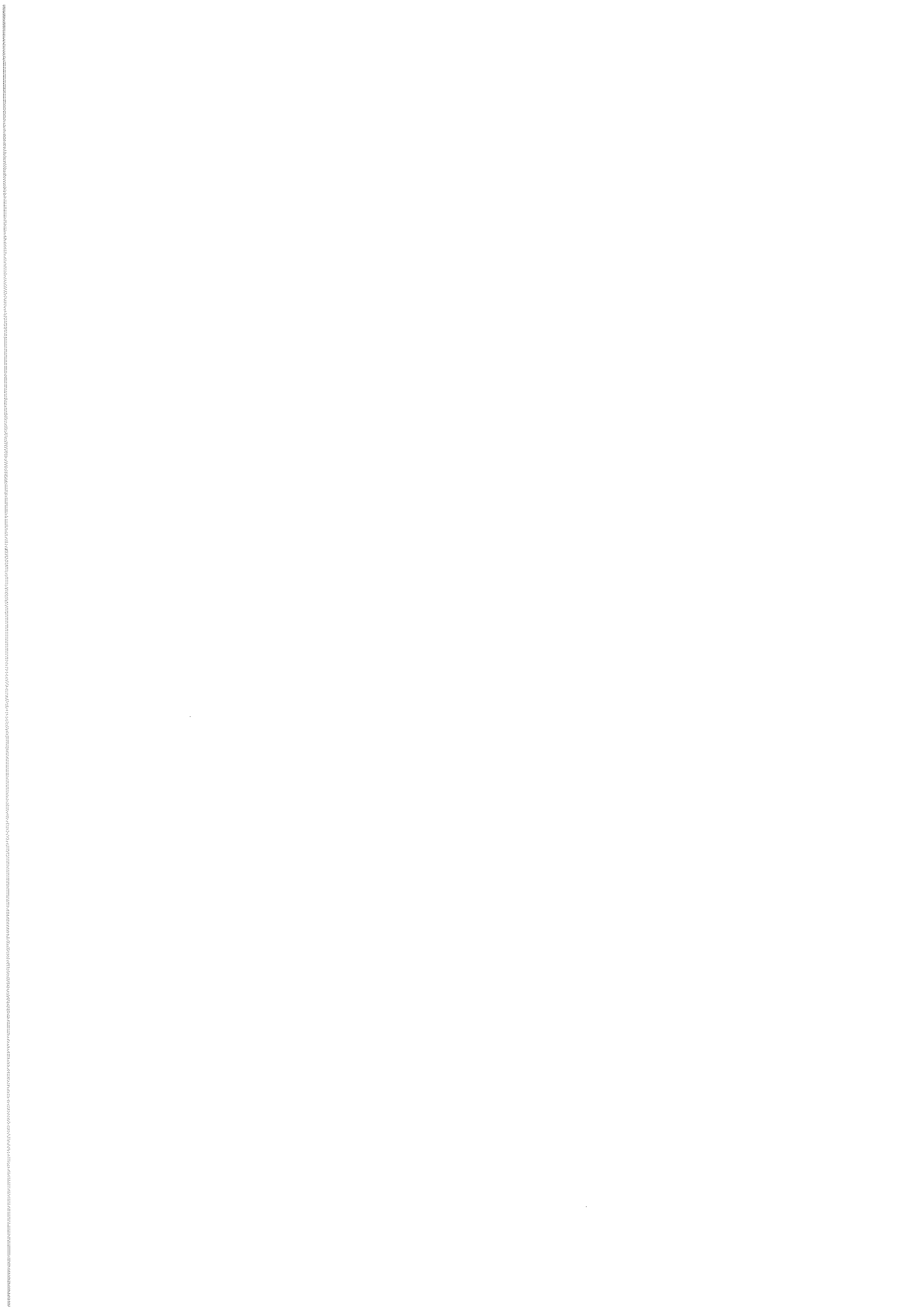


令和5年度

社会福祉法人庄内町社会福祉協議会

事業報告書



令和5年度庄内町社会福祉協議会事業の実施状況について

令和5年度本会事業につきましては、不安定な世界情勢、収束しない新型コロナウイルスの影響に起因する、地域での孤立や経済的な困窮、また、ひきこもりや虐待、権利擁護、ヤングケアラーなどの地域生活課題の解決に向け「第3期庄内町地域福祉活動計画」を令和4年3月に策定、その2年目として、当計画の基本理念である『健やかでやさしい 健康・福祉のまちづくり』と4つの基本目標を達成するため、本会が推進主体なり、地域住民、福祉員、民生委員・児童委員、専門機関・関係団体等の参画と協働のもと、地域福祉事業に取り組みました。

基本目標1 地域が支えあう「つながり」の構築について

住民が主体となる地域づくりの推進として、災害ボランティアセンターの体制整備に向け、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、地域住民、地域団体の参加のもと、防災意識の醸成、災害時におけるボランティアのあり方について認識を共有しました。

「集落いきいきサロン活動」について、サロン活動を継続できるよう支援体制の整備と情報提供を行うとともに、生活支援コーディネーター業務（庄内町から受託）では、生活支援の担い手の養成・サービスの開発、「コーディネーターだより」による情報共有・発信を行い、地域における「つながり」の場づくりを推進しました。

また、**地域住民による「支えあい」を推進**すべく「福祉員活動の推進」「民生委員・児童委員活動の支援」をおこない、地域福祉を推進する組織との連携を強化し、地域全体での地域生活課題の把握、解決に努めました。

基本目標2 地域住民の「生活を支える」取り組みの推進について

相談・支援体制の強化として、「庄内町福祉総合相談センター」を核とする、専門職による相談体制の整備、本会部署間及び関係機関との迅速かつ円滑な連携を図り、複合的な課題の解決の推進にあたりました。

また、**生活支援の推進**としては、日常生活において支援を必要とする方に対して、「食事（配食）サービス」「福祉サービス利用援助事業」等を活用し、適切なサービスの提供に努めました。

生活困窮者支援の促進では、生活困窮者等相談支援事業（庄内町から受託）において、必要な情報提供および助言、県や関係機関との連絡調整など必要な援助を行うとともに、本会独自事業である生活援護金や福祉資金の実施、地域のみなさまのご理解とご協力のもとフードドライブの啓発、フードバンクの拡充などを図りながら、継続的な支援を実施しました。

基本目標 3 福祉サービスの充実に向けた取り組みの推進について

高齢者支援の充実として、「介護センターほほえみ」を運営、介護保険法に基づく「訪問介護事業（ホームヘルプ）」、「居宅介護支援事業（ケアマネジメント）」の実施、職員の資質向上のための研修を行い、利用者が安心して、自分らしく生活が送れるようサービスの向上に努めました。

また、地域包括支援センター（庄内町から受託）を運営し、高齢者の人権・財産を守るための支援や、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援、認知症に対する支援を実施し、地域包括ケアシステムの構築を推進しました。

障がい児（者）支援の充実としては、障害者総合支援法に基づき、「障害者多機能型施設ひまわり園」を運営、「生活介護事業」「就労移行支援事業」「就労継続支援（B型）事業」「就労定着支援事業」を実施、利用者個々のニーズに合った、きめ細かなサービスを提供しました。地域活動支援センター（庄内町から受託）では、障がいのある人等の地域生活支援の促進を図りました。

また、障害者相談支援センター（庄内町から受託）を運営、関係機関と連携しながら、障がい福祉サービスの利用支援、障がい福祉サービス事業所見学会の実施、障がい福祉サービスガイドブックの刷新による情報提供等を行い、相談支援体制の充実を図りました。

ひきこもりサポート事業（庄内町から受託）では、ひきこもり相談会、居場所事業の実施、ひきこもりサポーターとの連携、関係機関との連絡調整を行いました。

子育て支援の充実について、各種助成制度を活用し、子供の居場所づくりを実施する組織に対して、活動の一助となるよう支援しました。

基本目標 4 地域福祉推進のための「基盤づくり」について

社会福祉活動の周知・啓発、活動支援として、地域で福祉活動をおこなっている団体等が自主的かつ継続的に活動できるよう支援を行いました。

また、地域での福祉活動や本会の活動など、本会広報誌「福祉しょうない社協」、ホームページ等により地域に発信し、地域福祉活動への周知・啓発に努めました。

法人組織体制の強化としては、障害者多機能型施設ひまわり園の施設整備、それに伴う効率的・効果的な施設のあり方について協議し、民間財団のプロジェクトに応募しました。残念ながら、不採択となりましたが、今後も地域における福祉ニーズをふまえ、実践を重ねながら検討を継続します。

以上、令和5年度本会事業の実施状況における概要とし、全般にわたる詳細は、部署ごとの事業報告に記載しております。

最後に、地域住民のみなさまのご理解とご協力、庄内町及び各関係機関団体のご指導とご支援を賜りまして各種事業を実施できましたことに深く御礼申し上げます。

1 法人運営(総務福祉課)

法人運営、事業執行のため、理事会等を効果的に開催し、各種事業、事務を適正に推進しました。

また、各地区、学区において福祉員と民生委員との意見交換会を開催し、事業等や課題の情報共有を図りました。コロナ感染症が第5類に移行されたことに伴い事業展開においては、感染予防対策を徹底し、社会の情勢を鑑みながら事業を実施しました。

(1) 組織推進体制の整備強化

①理事会の開催

開催年月日	開催内容
R5.6.1	<p>第1回 理事会</p> <p>開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 10名 監事 1名</p> <p>(1)議案第1号 専決処分事項の承認について(補正予算)</p> <p>(2)議案第2号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告について</p> <p>(3)議案第3号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算について(監査報告)</p> <p>(4)議案第4号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について</p> <p>(5)議案第5号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(6)議案第6号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(7)議案第7号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会理事候補者の推薦について</p> <p>(8)議案第8号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会監事候補者の推薦について</p> <p>(9)議案第9号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員候補者の推薦について</p> <p>(9)議案第10号 定時評議員会の招集について</p> <p>報告事項 (1)職務執行状況報告について</p>
R5.6.15	<p>第2回 理事会</p> <p>開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 11名 監事 2名</p> <p>(1)議案第11号 会長・副会長の選任について</p> <p>(2)議案第12号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について</p>
R6.3.19	<p>第3回 理事会</p> <p>開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 理事 9名 監事 2名</p> <p>(1)議案第13号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について</p> <p>(2)議案第14号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画について</p> <p>(3)議案第15号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算について</p> <p>(4)議案第16号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(5)議案第17号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(6)議案第18号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会専門部会規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(7)議案第19号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会表彰規程の設定について</p> <p>(8)議案第20号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会広報委員会規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>(9)議案第21号 介護センターほほえみ指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について</p>

開催年月日	開催内容
	(10) 議案第22号 庄内町地域包括支援センター指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (11) 議案第23号 障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (12) 議案第24号 障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援(B型)事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (13) 議案第25号 評議員会の招集について 報告事項 (1) 職務執行状況報告について

②評議員会の開催

開催年月日	開催内容
R5.6.15	第1回 評議員会(定時評議員会) 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 15名 (1)承認第1号 専決処分事項の承認について(補正予算) (2)承認第2号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業報告について (3)承認第3号 令和4年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支決算について (監査報告) (4)承認第4号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号)について (5)議案第1号 理事の選任について (5)議案第2号 監事の選任について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (3)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会臨時職員等就業規則の一部を改正する規則の制定について
R6.3.28	第2回 評議員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 評議員 12名 (1)承認第5号 令和5年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について (2)承認第6号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会事業計画について (4)承認第7号 令和6年度社会福祉法人庄内町社会福祉協議会収支予算について (6)議案第3号 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 報告事項 (1)職務執行状況報告について (2)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会職員給与等支給規程の一部を改正する規程の制定について (3)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会専門部会規程の一部を改正する規程の制定について (4)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会表彰規程の設定について (5)社会福祉法人庄内町社会福祉協議会広報委員会規程の一部を改正する規程の制定について (6)介護センターほほえみ指定居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

開催年月日	開催内容
	(7)庄内町地域包括支援センター指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (8)障害者多機能型施設ひまわり園指定生活介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について (9)障害者多機能型施設ひまわり園指定就労継続支援（B型）事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

③監事会の開催

実施年月日	実施内容
R5.5.24	内部監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・令和4年度 事業並びに会計に関する監査報告作成のための監査包括課、介護サービス課事業並びに収支決算諸表 ひまわり園、障害者相談支援センター事業並びに収支決算諸表 本部、総務福祉課事業並びに収支決算諸表
R5.3.30	庄内町監査委員による監査 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監査委員 2名 ・令和4年度 社会福祉法人庄内町社会福祉協議会 事業実施状況並びに会計決算処理状況について

④評議員選任・解任委員会開催

実施年月日	実施内容
R5.6.8	第1回 評議員選任委員会 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 評議員選任・解任委員 5名 (1)評議員の選任について (2)その他

⑥事務局体制の強化

管理者等会議を月1回開催し、情報共有等を図り、事業推進に努めました。

開催年月日	開催内容
R5.4.20	協議内容 (1)令和5年度事務分担について (2)令和5年度庄内町社協のあらましについて (3)令和5年度行事予定について (4)5月業務予定について (5)監査、理事会・評議員会の日程等について
R5.5.15	協議内容 (1)1月～3月実績について (2)6月業務予定について (3)理事会・評議員会提出議案について
R5.6.20	協議内容 (1)7月業務予定について
R5.7.26	協議内容 (1)8月業務予定について (2)4月～6月実績について

開催年月日	開催内容
R5.8.25	協議内容 (1)9月業務予定について
R5.9.26	協議内容 (1)10月業務予定について
R5.10.24	協議内容 (1)7月～9月実績について (2)11月業務予定について (3)令和5年度当初予算に係る町補助金、町受託金の予算積算・要求作業について
R5.11.21	協議内容 (1)12月業務予定について (2)令和6年度当初予算概要について
R5.12.20	協議内容 (1)1月業務予定について (2)令和6年度部署別予算(補助金・委託金)要求額について
R6.1.25	協議内容 (1)10月～12月実績について (2)2月業務予定について (3)理事会、評議員会の日程について
R6.2.19	協議内容 (1)3月業務予定について (2)令和6年度事業計画(案)について (3)令和6年度予算(案)について
R6.3.14	協議内容 (1)4月業務予定について (2)理事会、評議員会提出議案について (3)その他 ・臨時業務打合せ会(人事異動内示)日程について ・辞令交付式について
R6.3.25	人事異動内示

(2) 周知・説明活動の推進

①福祉員等会議の開催

福祉員等会議を各学区、地区で開催し、福祉員や民生委員の方々から地域の状況や課題、意見等をお聞きし情報共有しました。

開催年月日	開催内容
R5.7.12	狩川地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 立川老人福祉センター 集会室 出席者 福祉員 10名 民生委員・児童委員 7名
R5.7.21	第三学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第三まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 10名 民生委員・児童委員 7名
R5.7.26	清川地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 庄内町清川公民館 2階和室 出席者 福祉員 11名 民生委員・児童委員 3名

開催年月日	開催内容
R5.8.4	第一学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第一まちづくりセンター 和室 出席者 福祉員 14名 民生委員・児童委員 6名
R5.8.9	立谷沢地区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 庄内町立谷沢まちづくりセンター 出席者 福祉員 6名 民生委員・児童委員 3名
R5.8.30	第二学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第二まちづくりセンター ホール 出席者 福祉員 12名 民生委員・児童委員 10名
R5.9.13	第四学区 福祉員と民生委員・児童委員との意見交換会 開催場所 第四まちづくりセンター 視聴覚室 出席者 福祉員 11名 民生委員・児童委員 9名

・庄内町民生委員児童委員協議会での周知

開催年月日	開催内容
R5.5.25	庄内町民生委員・児童委員協議会 5月定例会 出席 開催場所 第四まちづくりセンター
R5.12.21	狩川地区 見守り会議時事業説明 開催場所 立川老人福祉センター

②広報委員会の開催

開催年月日	開催内容
R5.10.4	協議内容 実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 広報委員 4名 (1) 広報紙「福祉しようない社協」について (2) 広報紙以外の広報活動について ・ホームページについて

③出前講座の開催

※包括課で実施した講座となるため、庄内町地域包括支援センター事業報告書に記載となります。

(3)活動財源の確保

①会費収入の確保

地域福祉活動を実施するうえでの貴重な財源となる会費等について、町民の方々へ事業についてご理解とご協力をお願いいたしました。

また、本会の目的に賛同いただける個人や事業所へもご理解とご協力をお願いしました。

・口座振替の推進

実施年月日	実施内容
R5.8.1	本会広報「福祉しようない社協」に掲載し、協力依頼 社協会費納入依頼書発送時に口座振替申込書を同封し、協力依頼

・住民協定会費集落一括納付及び完納奨励金交付の実施

実施年月日	実施内容
R6.1.20 ～	会費の一括納付及び完納集落に対し奨励金を交付し、円滑な納付の推進を図る。 一括納付対象集落 50集落 完納対象集落 40集落 一括納付及び完納対象集落 39集落 奨励金対象集落 51集落

・特別会員、賛助会員の拡充

実施年月日	実施内容
R5.8.1	本会広報「福祉しょうない社協」に掲載し、協力依頼

②赤い羽根共同募金運動への協力

毎年10月1日から全国一斉に共同募金運動が展開され、地域の方々や企業等に募金活動の協力をお願いいたしました。

・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会運営委員会の開催

開催年月日	開催内容
R5.6.1	第1回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 10名 (1)議案第1号 令和4年度庄内町共同募金委員会事業報告について (2)議案第2号 令和4年度庄内町共同募金委員会収支決算について (令和4年度共同募金及び歳末たすけあい募金実績) (監査報告) (3)議案第3号 令和5年度庄内町共同募金委員会事業計画について (4)議案第4号 令和5年度庄内町共同募金委員会収支予算について (令和5年度共同募金及び歳末たすけあい募金目標額)
R5.6.15	第2回 運営委員会 書面決議 (1)議案第5号 運営委員の選任について (2)議案第6号 監事の選任について 運営委員11名の同意いただく
R5.6.15	第3回 運営委員会 開催場所 立川老人福祉センター 出席状況 運営委員 11名 (1)議案第7号 会長、副会長の選任について (2)議案第8号 審査委員の選任について

・山形県共同募金会庄内町共同募金会監事会の実施

実施年月日	実施内容
R5.5.24	実施場所 余目老人福祉センター 出席状況 監事 2名 ・山形県共同募金会庄内町共同募金委員会 令和4年度会計決算処理状況について

・赤い羽根共同募金活動の実施

実施年月日	実施内容
R5.10.1 ～12.31	共同募金運動の展開 ・戸別募金(各世帯)・法人募金等のお願い

・街頭募金の実施

実施年月日	実施内容
R5.10.1	実施場所 しょうない秋まつり開催会場(町総合体育館周辺) 出席者 本会理事7名 職員 5名

・赤い羽根共同募金配分の状況

(単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	2,610,600
	2. 街頭募金	30,009
	3. 法人募金(会社等)	431,000
	4. 職域募金(役場等)	42,415
	5. その他	11,021
	合 計	3,125,045
配 分 内 訳	1. 令和6年度県内の施設等へ	1,204,000
	2. 令和6年度庄内町社協へ	1,921,045
	合 計	3,125,045

2 地域福祉事業(総務福祉課)

(1)地域ふれあい事業

①食事(配食)サービス事業

実施年月日	実 施 内 容
R5. 4. 1～ R6. 3.31	<p>食事(配食)サービス事業(立川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 23名 ・内 容 毎週火曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ90回 930個
R5. 4. 1～ R6. 3.31	<p>食事(配食)サービス事業(余目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 65才以上のひとりぐらし高齢者・夫婦世帯 身体障害者世帯等 希望者 21名 ・内 容 毎週水曜日・金曜日の昼食 ・実 績 延べ96回 764個

○集落いきいきサロン活動

地区・学区ごとの普及率

※()内は、4年度との比較

区 分	集落数	取組み集落数	普及率
全 体	115	74	64.3%
● 立 川	46	31 (+2)	67.4%
立谷沢地区	11	5 (+2)	
清川地区	14	10 (±0)	
狩川地区	21	16 (+1)	
● 余 目	69	43 (+1)	62.3%
第一学区	18	11 (+3)	
第二学区	18	13 (±0)	
第三学区	12	7 (-1)	
第四学区	21	12 (-1)	

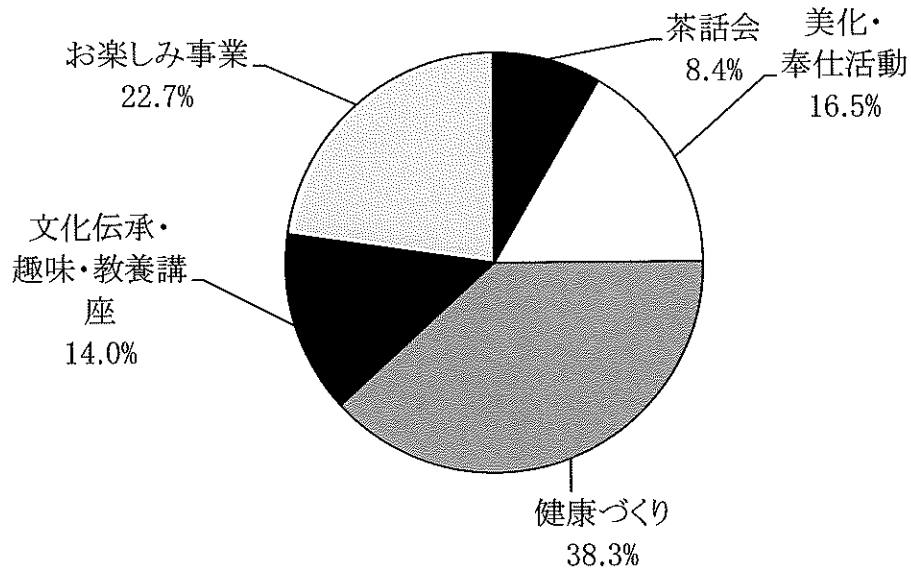
年度別活動集落数

年度	集落数
23年度	74
24年度	77
25年度	77
26年度	78
27年度	78
28年度	78
29年度	80
30年度	83
元年度	88
2年度	80
3年度	73
4年度	70
5年度	74

実施内容の分類

項 目	内 容
茶 話 会	集会所・公民館を利用し、おしゃべりやお茶飲みなどで楽しむ 計画(内容など)についての相談や反省会
美化、奉仕活動	花いっぱい運動・クリーンデー等の活動や、集落内の美観の維持などをお茶飲み・食事会
健康づくり	集落での軽スポーツやグラウンドゴルフ練習・大会 ストレッチ運動・脳トレ、生活習慣病の予防など、体力の維持・健康増進につながる教室を開催
文化伝承 趣味・教養講座	「出前講座」、「病院の医療講演」、「交通安全教室」、地域の方のお話(講話)、陶芸や料理など趣味の教室や映画の観賞、集落に伝わる昔の行事等の伝承による世代交流など
お楽しみ事業	お花見、芋煮会、忘・新年会などの季節の行事 町内外の施設見学や温泉保養など

集落いきいきサロン活動内容の比較



令和5年度いきいきサロン活動実施内訳

実施回数 延べ998回

茶話会	美化・奉仕活動	健康づくり	文化伝承・趣味・教養講座	お楽しみ事業
84	165	382	140	227

998

(2)生活困窮世帯等支援事業

①生活福祉資金貸付制度（県社協からの受託）

コロナ感染症特例貸付制度について、貸付された世帯の状況の確認等のフォローアップ支援を実施し、聞き取り面談後状況によっては猶予申請や免除申請等の手続きを行いました。

資金種別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額	滞納件数	
福祉資金	福祉費	6	4,169,000	0	0	3
	緊急小口	6	399,000	0	0	6
	緊急小口（コロナ特例）	22	3,974,000	0	0	1
教育支援資金	教育支援費	15	28,330,000	4	6,672,000	2
	就学支援費	21	7,783,000	4	1,598,000	3
総合支援資金	総合支援資金	2	3,020,000	0	0	2
	コロナ特例	14	7,380,000	0	0	0
計	86	55,055,000	8	8,270,000	17	

内 令和5年度新規貸付

資金種別	貸付件数	貸付金額	据置件数	据置金額
福祉資金	福祉費	0	0	0
	緊急小口	1	84,000	0
教育支援資金	教育支援費	1	2,292,000	1
	就学支援費	0	0	0
総合支援資金	総合支援資金	0	0	0
合計	2	2,376,000	1	2,292,000

コロナ特例貸付償還免除件数

※借受人と世帯主が均等割・所得割いずれも前年度住民税非課税であれば償還免除の対象となります。

資金種別	貸付件数	貸付金額	
福祉資金	緊急小口（コロナ特例）	1	200,000
総合支援資金	コロナ特例	1	600,000

②福祉資金貸付状況

貸付状況

貸付原資	貸付件数	貸付金額	貸付限度額	貸付期間	備考
1,000,000円	10件	460,000円	1件 50,000円	10ヶ月	利子（無利子）保証人（1名）

償還状況

過年度貸付繰越額	本年度貸付額	計	本年度償還額	不納欠損	未償還額（貸付中）	原資繰越額
16件	10件	26件	11件	0件	14件	
435,000円	460,000円	895,000円	489,000円	0円	406,000円	594,000円

③生活援護金の支給

実施年月日	実 施 内 容
R5.8.9	生活援護金支給 162世帯 1,468,000円

④歳末たすけあい運動募金活動の実施

実施年月日	実 施 内 容
R5.11.1 ～12.31	歳末たすけあい運動募金の展開 ・戸別募金(各世帯)、職域募金、学校募金等のお願い
R5.12.12	歳末たすけあい運動募金配分委員会 開催場所 庄内町余目老人福祉センター
R5.12.21 ～12.26	歳末たすけあい運動募金配分

・歳末たすけあい運動募金配分の状況 (単位:円)

募 金 内 訳	1. 戸別募金(各世帯)	1,895,781
	2. 職域募金(事業所等)	95,489
	3. 学校募金(児童・生徒・教職員)	57,777
	4. 篤志募金(篤志者等)	161,000
	合 計	2,210,047
内配 訳分	1. 低所得者援護	2,011,000
	合 計	2,011,000

収入支出差引残金 199,047円は、令和6年度庄内町社会福祉協議会地域福祉活動費として配分予定

・ご寄贈いただいた物品

福祉餅(丸もち500g入) 165袋 余目町農業協同組合様
精米(2kg入他) 約1,050kg あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト実行委員会様 対象世帯へ贈呈

(3) 総合相談事業

・法律相談の実績

日常生活に直面する法律的諸問題のうち、その解決に専門的な法律の知識を要するものについて、弁護士による適切な指導助言を受け問題解決を図るため、法律相談を年間6回実施しました。

○余目会場

開設日数	4日		利用率	93.8%							
相談利用者	15名		(男性	9名			女性	6名)			R4
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財産	契約	消費貸借	賃貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数			1	1		2	3	4	4	15	14

○立川会場

開設日数	2日		利用率	75.0%							
相談利用者	6名		(男性	3名			女性	3名)			R4
NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	計
相談内容	財産	契約	消費貸借	賃貸借	消費者被害	損害賠償	離婚	相続	その他		
件数				1			3	1	1	6	6

(4) ボランティア推進事業

ボランティア活動の推進において、ボランティアセンターの運営、ボランティアに関する相談窓口、連絡調整などの事業推進を図りました。

実施年月日	実施内容
R5. 4. 1～ R6. 3.31	社協ボランティアセンター 設置場所 立川老人福祉センター ・ボランティアの相談窓口・連絡調整
R5.7.27、8.3	手話教室(全2回実施) ・今年度対象 余目第三学区学童、庄内町全域 ・開催場所 余目第二まちづくりセンター ・講師 山形県聴覚障害者協会庄内支部 三ツ澤 幸氏 (庄内町手話通訳者) 荒木 伸一郎氏 ・参加延べ人数 176名 (R4:2回実施延べ124名)

実施年月日	実施内容
R5.7.12	市町村社協地域福祉・ボランティア担当者会議 ・開催場所 鶴岡市福祉センター
R5.7.12	広げようボランティアの輪連絡会議総会 ・開催場所 鶴岡市福祉センター
R5.9.7	酒田市災害ボラセン設置運営訓練参加 ・開催場所 酒田市地域福祉センター
R5.9.8	地域人材セミナー「防災・減災講座」 ・開催場所 第四まちづくりセンター
R5.9.12	庄内町ボランティア連絡協議会会員研修交流会 清川観光ガイドによる「世界かんがい施設遺産コースめぐり」 ・参加数 17名
R5.10.27	庄内町ボランティア連絡協議会共催研修会 ボランティアすまいる主催「子ども達の未来に向けた想い」研修会 公益社団法人キューピーみらいたまご財団 理事長 長南 収 氏 ・開催場所 第三まちづくりセンター ・参加数 総勢 120名
R5.11.10	庄内町災害ボランティアセンター設置運営研修会 ・「災害ボランティアセンターの役割」 NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク 代表 早坂 信一 氏 ・設置運営訓練(ロールプレイ) ・開催場所 立川老人福祉センター ・参加人数 42名
R5.11.27	庄内町災害ボランティアセンター設置運営研修会 ストックヤード見学会 ・天童市 山形県トラック協会 ・参加人数 5名

(6) 広報活動

① 社協広報発行の状況

令和5年度年3回 広報発行しました。

実施年月日	実施内容
R5.8.1	広報「福祉しょうない社協」第50号発行
R5.11.1	広報「福祉しょうない社協」第51号発行
R6.3.1	広報「福祉しょうない社協」第52号発行

② 社協ホームページ閲覧の状況

実施年月日	件数
R5. 4. 1～ R6. 3.31	ホームページ閲覧ページ数 15,654件(月平均1,305件)

(7) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の状況(県社協から受託)

実施年月日	実施内容
R5. 4. 1～ R6. 3.31	サービス利用者 7名 基幹的社協専門員(2名)・生活支援員(4名)との連携により支援
R5.5.31	基幹的社会福祉協議会専門員連絡会議 出席:専門員1名(オンラインによる研修会)
R5.8.3	専門員研修会 出席:専門員1名
R5.10.19	福祉サービス利用援助事業ヒアリング ・県社協から2名
R5.12.8	生活支援員・担当職員研修会 開催場所:公益ホール 出席:生活支援員3名、専門員1名
R6.1.11	専門員実務研修会 開催場所:県自治会館
R6.3.25	エリア会議 開催場所:酒田市社協 出席:生活支援員1名、専門員1名

・研修、会議等参加の状況

年月日	研修・会議等内容	開催場所
R5.4.14	庄内町老人クラブ連合会総会	立川老人福祉センター
R5.4.20	庄内中央厚生保護女性部総会	第四まちづくりセンター
R5.4.22	ボランティアすまいる「にこにこ食堂」総会	第三まちづくりセンター
R5.4.25	庄内町自治会長会総会	響ホール
R5.4.26	余目身体障害者福祉会総会	余目老人福祉センター
R5.4.26	市町村社協事務局長会議	県自治会館
R5.4.27	立川身体障害者福祉協議会総会	立川老人福祉センター
R5.4.27	庄内町民生委員児童委員協議会総会	第四まちづくりセンター
R5.5.18	庄内町手をつなぐ育成会総会	立川老人福祉センター
R5.5.18	庄内町ボランティア連絡協議会総会	立川老人福祉センター
R5.5.22	庄内町青少年育成町民会議	第四まちづくりセンター
R5.5.29	庄内町地域包括支援センター運営協議会	保健センター
R5.6.4	生きがい支え合いフォーラム	三川町「テオトル」
R5.6.9	庄内町シルバー人材センター総会	第二まちづくりセンター
R5.6.9	市町村生活福祉資金担当職員(フォローアップ支援に関する説明会)	オンライン
R5.6.22	県社会福祉協議会評議員会	オンライン
R5.6.29～30	防火管理者研修会	鶴岡勤労者会館
R5.7.2	庄内町手をつなぐ育成会「パラパラリンピック」	体育センター

年月日	研修・会議等内容	開催場所
R5.7.7	庄内町戦没者追悼式	狩川まちづくりセンター
R5.7.14	災害ボランティアセンター運営研修会	オンライン
R5.7.18	立川複合拠点施設開所式	立川複合拠点施設
R5.7.28	山形県共同募金会事務局長会議	ヤマコーホール
R5.7.31	生活福祉資金担当者会議	県自治会館
R5.9.5	山形県老人福祉大会	長井市
R5.9.10	たんぼぼの会「太鼓でドンドン」	第三まちづくりセンター
R5.9.21	第1回 保健医療福祉推進委員会	町役場B棟
R5.10.3	庄内町被害者支援連絡協議会総会	庄内警察署
R5.10.15	庄内町総合防災訓練	狩川まちづくりセンター周辺
R5.10.18	市町村社協事務局長会議	オンライン
R5.10.25	メンタルヘルスセミナー	zoom
R5.10.28	庄内町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会	笠山GG場
R5.10.30	山形県民福祉大会	寒河江市
R5.11.13	生活福祉資金貸付説明会	zoom
R5.11.14	生活福祉資金貸付調査(県社協より2名来所)	立川老人福祉センター
R5.11.17	庄内地方社会福祉連絡会役職員研修会	遊佐町
R5.11.29	庄内町自治会長会研修会	テトラリゾート
R5.11.30	市町村社協会会長等会議	山形市
R5.11.30	第1回 保健医療福祉推進委員会	町役場B棟
R5.12.20	ソーラーナ評議員選任委員会	ソーラーナ
R5.12.21	生活福祉資金貸付担当者会議	zoom
R5.12.25	成年後見制度利用促進研修会	zoom
R6.1.5	庄内町総合表彰式・新春を祝う会	響ホール
R6.1.11	成年後見制度情報交換会	県自治会館
R6.1.17	重層的支援体制整備事業等実施市町村情報交換会	zoom
R6.1.19	成年後見制度についての研修会	山形市
R6.1.31	市町村社協総務担当者会議	zoom
R6.2.8	地域公共交通会議	役場B棟
R6.2.13	相談員スキルアップ研修会	山形市
R6.2.27	市町村共募事務局長会議	オンライン
R6.2.27	子どもの居場所地域コーディネーター研修	zoom
R6.2.29	庄内町地域包括支援センター運営協議会	役場B棟
R6.3.7	社協法人連携情報交換会	zoom
R6.3.8	広がれボランティアの輪連絡会議「居心地の良い居場所づくり」	zoom
R6.3.10	庄内町手をつなぐ育成会「成年後見制度勉強会」	第一まちづくりセンター
R6.3.27	県社協評議員会	オンライン

3 生活支援事業（総務福祉課）

（1）生活困窮者等相談支援事業

①生活困窮者等相談事業の相談業務

・一時的な相談支援について

生活困窮者等相談支援員1人を庄内町福祉総合相談センターに配置し、生活困窮者等相談業務を実施しました。相談件数は、延べ1,259件で、相談者数は146名でした。収入・生活費の相談が全体数の約半分を占めており、次いで支払いに関しての相談が多い傾向にありました。相談者が抱える課題を解決するために必要な支援・制度へ適切にお繋ぎできるよう、思いに寄り添った相談対応を心掛けながら、関係機関との情報共有に努めました。

自立相談支援機関により支援が必要になった場合は生活自立支援センターさかたへお繋ぎし、連携を取り合いながら継続的に支援を実施しました。地域住民の相談窓口である民生委員・児童委員からの相談もあり、その都度相談者宅へ一緒に訪問するなど、地域とのネットワークづくりの構築を心掛けました。

要保護者になる恐れが高い相談者への生活保護制度の情報提供や助言については、庄内町保健福祉課福祉係と連携して対応しております。加えて、高齢者・障害者等の生活困窮状態の解消や生活再建についても、庄内町福祉総合相談センターの機能を生かしながら、庄内町地域包括支援センターや庄内町障害者相談支援センター、庄内町各課と連携した相談対応に努めることが出来ました。

昨年に引き続き、山形県生活困窮者等食料品等提供活動支援事業の補助金を活用した食糧支援を実施し、相談者の課題に添った早急な食糧支援に取り組んで参りました。加えて、今年度は食糧支援のみならず、トイレットペーパーや洗剤等の日用品を新たに備蓄し、日用品配布を実施しました。物価の高騰により、日用品や生活必需品を購入することが難しいという悩みを抱えた相談者もあり、一人ひとりの相談内容に応じて食糧支援や日用品配布支援の取り組みを行って参りました。相談時、その場ですぐ物資の提供が出来たことにより、相談者の不安や支出の軽減を図ることができました。

②都道府県との連携調査・支援のサポート

相談内容により、下記の関係機関と連携を図り支援を実施しました。

生活自立支援センターさかたが主催する支援調整会議では、支援終結にあたるフォローアップを行ったほか、継続的な支援が必要な方への相談体制の整備に努めました。

食糧支援関係では、やまがた福わたしが主催するフードバンク関連の研修会に参加しました。フードバンクとフードドライブについて学んだことで、食糧支援を展開するうえで知識が身につきました。

また、今年度は本会内部でフードドライブ活動を実施しました。事業所内5か所に食糧品回収ボックスを3日間設置したところ、缶詰や乾麺、レトルト食品等様々な食料品をご家庭より持ち寄っていただき、合計41.1kgものご寄付をいただきました。併せて、フードドライブ活動についてのアンケートを実施し、食品ロス削減や貧困問題の解消に繋がることへの意識調査を行いました。中には、フードドライブ活動に参加したことにより更に意識するようになった、との声も寄せられており、職員の福祉や食品ロスに対する意識向上に繋がったことと思います。アンケート内でも要望があったフードドライブ活動の定期開催についても、検討して参ります。この度集まった食糧品は賞味期限月毎に仕分けをしたうえ、生活にお困りの世帯等にお渡ししております。

◎連携した関係機関

法人・公的機関

山形県社協、庄内町役場、庄内警察署、庄内町社協(障害者相談支援センター、地域包括支援センター、介護センターほほえみ、障害者多機能型施設ひまわり園)、酒田市社協(生活自立支援センターさかた)、鶴岡市社協(くらしステーション)、庄内総合支庁、ハローワーク酒田、庄内障害者就業・生活支援センターかでの、余目郵便局、福祉施設(こもれび、ドレミファ、くじら、光風園、徳洲苑、山水園、ほなみ家、きずな等)、訪問介護ステーション(アジュダンテ、いのちの華)、病院医療相談室(日本海総合病院、庄内余目病院)、やまがた福わたし、庄内町シルバー人材センター、やまがた絆の架け橋ネットワーク 等

地域資源 庄内町民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

その他 余目町農業協同組合、庄内たがわ農業協同組合、(株)小野工務店、(株)安藤組、(株)丸大不動産、東北農政局、鶴岡信用金庫 等

◎参加した会議・研修等

個別ケース会議、要保護児童対策地域協議会、生活自立支援センターさかた支援調整会議、庄内地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会、庄内町ひきこもり相談会支援調整会議、フードドライブ研修会、生活福祉資金担当者会議、庄内町民生委員推薦会、やまがた福わたし実施研修会、フードバンク贈呈式、庄内町居宅介護支援事業所連絡会・事例検討会、災害ボランティア研修会、歳末たすけあい運動募金配分委員会、生活困窮者自立支援全国研究交流大会 等

③町長が必要と認める支援

コロナの影響を受けた相談者や継続した生活困窮状態にある相談者に対して、生活の安定と経済的負担の軽減を図るために町で実施された、「庄内町生活困窮者世帯コロナ対応生活応援事業」に協力しました。生活困窮者の情報提供や名簿の作成、連絡調整や状況報告を行いました。

1. 相談者数

実人数	延べ人数
146	1,259

2. 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	来所	電話	訪問	関係機関	その他	計
件数	244	391	38	543	43	1,259

3. 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	収入・生活費のこと	支払いのこと	仕事のこと	食べ物が ない	金銭管理 について
件数	548	341	69	20	53

内容	家族関係 のこと	その他	計
件数	24	204	1,259

4. つなぎ先(主たるものに1カウント)

内容	情報提供・傾聴	生活自立支援センターさかた	県社協貸付	町社協貸付	その他	計
件数	1,097	43	40	40	39	1,259

5. 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	81	78	100	92	135	72	75	119	106

月	1月	2月	3月	計
件数	132	115	154	1,259

(2) 障害者相談支援事業(庄内町障害者相談支援センター)

庄内町障害者相談支援センター概要

当センターは、「障害者総合支援法」に基づく、身体・知的・精神、その他障がいに対応している一般相談支援事業所です。庄内町における障がい児・者(以下当事者)やご家族の方々が、気軽に相談していただけるように事業実施をしております。庄内町福祉総合相談センターの障がい担当として、地域包括支援センター、生活困窮者等相談、ひきこもり相談の各相談窓口と連携し、複合的な課題を抱えている当事者やご家族に対して支援をしております。

①障害者相談支援事業について

- ・福祉サービスの利用援助(情報提供、相談等)
- ・社会資源を活用するための支援(各種支援施策に関する助言、指導等)
- ・社会生活力を高めるための支援
- ・権利擁護のために必要な援助
- ・専門機関の紹介
- ・地域自立支援協議会の運営の協力
- ・専門的な相談支援を要する困難ケース等への対応

相談件数は、2,221件で前年度より200件以上増加しました。これまで精神障害の方からの相談が半数を占めておりましたが、今年度は知的障害の方からの相談が約4割で最も多く、次いで精神障害の方からの相談が約3割でした。当事者の生活状況や理解度に合わせた支援や精神状態や要望にあわせた対応を心掛けました。また、障害種別に関わらず関係機関と連携しながら、当事者の方が必要とする支援が受けられるように対応して参りました。

当事者の状態に応じたニーズを見極め、地域で当事者を支えるネットワークの構築を図ることで継続した支援に繋がると考えます。当センターでは当事者の方々が、住み慣れた地域での安心した暮らしを送るために地域で何ができるのかを協議する地域自立支援協議会を庄内町と共同で開催しております。

調整会議には、地域の関係機関の連携強化のため、町内の障がい福祉サービス事業所に参加していただきました。庄内町SUN・SUNバザーの取り組みや地域生活支援拠点事業、令和6年度から

施行される「障害福祉サービス等報酬改定」や「改正障害者差別解消法」等の内容を確認しました。地域生活支援拠点事業の運用にあたり、緊急時や親亡き後に備えて地域で安心した生活を送るために町としてどのような支援をしていくのかについて検討を続けて参ります。

また、今年度はサービス支援部会を3ケース延べ3回開催いたしました。町、医療、福祉の関係機関が集まり、各機関と連携のもと一体的な支援を行うための調整を行いました。

◎庄内町地域自立支援協議会 実績 (全2回)

会議・部会名	開催日	開催回数
調整会議	3月24日(金)	1回
サービス支援部会	6月23日(金)	3回
	8月15日(火)	
	3月6日(水)	

◎参加した会議・研修会等

庄内町民生委員児童委員協議会定例会、就労セミナー、ひきこもり地域支援ネットワーク会議及び子ども・若者支援協議会庄内地域交流研修会、ひきこもり支援ネットワーク会議、障がい者就労活動活性化協議会並びに庄内就業・生活支援センター連絡協議会、鶴岡高等養護学校業務連絡会議、地域生活支援セミナーIN庄内、市町村職員を対象とするセミナー、庄内町保健医療福祉推進委員会、鶴岡高等養護学校就労支援連絡会、インターバル実習研修、民生委員児童委員協議会厚生部会研修会、基幹相談支援センター情報交換会、ひきこもりサポーター養成講座、山形県高次脳機能障がい研修会、障がい者虐待防止・権利擁護研修、ペアレント・トレーニング、カウンセリングゼミナール、依存症相談支援者基礎研修会、山形県難病専門講演会、ひきこもり・8050講演会、農福連携庄内地域部会会議・研修会、第三学区意見交換会、清川地区意見交換会、第一学区意見交換会、立谷沢地区意見交換会、第二学区意見交換会、障害者差別解消支援地域協議会体制整備・強化ブロック研修会、

◎連携した関係機関

行政機関：山形県・鶴岡市・酒田市・遊佐町・庄内町・三川町・庄内総合支庁

公的機関：庄内警察署・ハローワーク・障害者就業・生活支援センター・庄内職業能力開発センター

庄内地域若者サポートステーション・生活自立支援センターさかた・鶴岡年金事務所街角の年金相談センター酒田

障がい福祉関係機関等：サービス支援事業所、特定相談支援事業所、介護支援事業所

医療機関：医療相談室・医療連携室

教育機関：小・中・高等学校（特別支援学級含む）、特別支援学校、庄内町教育委員会

地域資源：障がい児・者親子の会たんぼぼの会、あつとほ一む

民生委員・児童委員、福祉サービス利用援助事業、庄内町ひきこもり相談会

山形県身体障害者協会・酒田市視覚障害者福祉協会

その他関係機関：地域包括支援センター・訪問看護ステーション

②.基幹相談支援センター事業について

・総合的、専門的な相談支援の実施

昨今の状況としては、当事者が高齢の家族を介護しているケースや、家族全体で複合的な課

題を抱えているケースが多くなっており、障がいに限らず多職種と連携して包括的な支援体制を構築する必要があります。また、親亡き後の支援体制の強化も必要となっており、障がいをお持ちの方が住み慣れた地域で暮らしていくためにも町民の方から障がいに対する理解を得るため周知活動が重要となっております。

今年度2事業所が新たに庄内町で事業を行う事を踏まえて「庄内町障がい福祉サービスガイドブック」を作成いたしました。町内の障がい福祉サービス事業所について当事者や家族、町民に向けて周知する事を目的として令和2年度地域支援事業で作成したガイドブックを刷新した内容となっており、作成にあたり町内の事業所や社会資源の情報収集を行いました。作成したガイドブックは、町内の障がい福祉関係機関に加えて民生委員・児童委員、まちづくりセンター、町内小・中学校、庄内総合高校、酒田南高校、鶴岡市・酒田市の養護学校・特別支援学校などに配布することで広く周知を図りました。

引き続き町内に限らず広域的な社会資源や福祉サービスなどの情報収集にもより一層力を入れながら地域に開かれ且つ地域から信頼される事業所を目指して参ります。

・地域の相談支援体制の強化の取組

障がい福祉サービスをご利用になる当事者は特定相談支援事業所により「サービス等利用計画」が作成され、庄内町から支給決定を受けることでサービス受給者証が交付されます。当センターでは、「サービス等利用計画（案）」の段階で当事者のニーズに合ったサービス利用であるか、必要なモニタリング（計画に照らして状況把握を行い、決められたサービスや支援が提供されているかのチェック）の時期設定であるか等、庄内町とサービス等利用計画会議を開催し協議しています。これらは、障がい特性に応じたサービス利用を支援するとともに、サービスの適正利用にも繋がっております。

開催場所：庄内町役場

参集者：庄内町保健福祉課福祉係長・身体・知的・精神障がい各担当

庄内町障害者相談支援センター相談員

◎サービス等利用計画会議開催実績（全12回）

上半期 全6回	検討件数	下半期 全6回	検討件数
4月28日（金）	12件	10月26日（木）	4件
5月29日（月）	8件	11月28日（火）	15件
6月29日（木）	16件	12月28日（木）	13件
7月27日（木）	18件	1月30日（火）	12件
8月29日（火）	15件	2月27日（火）	17件
9月28日（木）	17件	3月22日（金）	42件

山形県立こころの医療センター公認心理師を講師に迎え、障がい児とのより良い関わり方を学ぶペアレント・トレーニングの講座を全5回、今年度からは土曜日に開催しました。また、講座終了から3か月後に、講座の効果や生活での困りごと等を確認するフィードバックの会を1回開催しました。受講対象者の選定時には、庄内町教育委員会、健康推進係、子育て応援課、児童発達支援係と連携を行い、必要な方に講座を受講して頂けるように調整しました。今年度は2名の方から参加いただき、子供の良い所を探すようになった、子供の立場に置き換えて考えるようになったとの声が聞かれました。

また、健康推進係、児童発達支援係と共同で「なないろカフェ」を土曜日に2回開催しました。親子サポートステーションメグシィから3名の講師を迎え、子どもの発達に関する相談と

障がい児の保護者等の交流の場を目的として今年度初めての開催でした。町関係部署と連携しながら内容の検討や運営を行い、2回合わせて13名の方から参加いただきました。参加者からは、同じ悩みを持つ親と話ができて良かった、アドバイスが勉強になったとの声が聞かれました。今後も関係部署と連携しながら障がいに対する理解を促し、障がい福祉の啓発に努めて参ります。

・地域移行、地域定着支援会議

精神科病棟に入院していた当事者が、地域に戻り安心して生活できるように町や共同生活援助事業所、相談支援事業所、医療機関等の関係機関と情報共有を密に行い、連携を図りながら地域に定着できるよう支援を行いました。

当事者やご家族が地域にある社会資源を把握すること、受け入れ側である地域の方々に障がいについて理解をいただくことを目的に民協厚生部会研修会での説明を1回、障がい児・者サービス事業所見学会（以下事業所見学会）を3回開催いたしました。事業所見学会では、家族会や民生委員・児童委員の方々と共に町内1ヶ所、酒田市9ヶ所、鶴岡市2ヶ所の事業所を訪問しました。新型コロナウイルス感染症対策をした上で、食事を提供している事業所で会食をとりながら参加者の皆さんと交流を図りました。今後も社会資源や障がい福祉の周知と啓発の活動を検討して参ります。

・権利擁護・虐待の防止

今年度は、関係機関から権利擁護の相談が1件、当事者から町に対して虐待関連の相談が数件あり、いずれも町や関係機関と連携して支援して参りました。権利擁護の相談は、生活状況の確認を行い町に報告のもと、成年後制度利用につながりました。虐待関連の相談は、状況確認と当事者や家族の安全な生活確保をすみやかに行いました。令和5年度のケースに関しては、町に家庭状況や本人の状態等を精査していただき、虐待と判断されるケースはありませんでした。

令和5年度 庄内町障害者相談支援センター相談実績

障がい種別

	実人数	延人数	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他
障がい児	4	23	7	0	15	1	0	0	0	0
障がい者	114	2,198	124	0	857	787	89	39	40	263
合計	118	2,221	131	0	872	788	89	39	40	263

2 相談方法(主たるものに1カウント)

方法	訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	160	87	62	481	60	24	1,347	0	2,221

3 相談内容(主たるものに1カウント)

内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労支援
件数	573	23	406	532	1	110	179	109	139
内容	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計					
件数	108	41	0	2,221					

4 月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	173	187	217	173	198	177
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	200	166	191	167	170	202

(3) ひきこもり対策推進事業(ひきこもりサポート事業)

① 概要

令和元年度より庄内町から委託を受けて、ひきこもり対策推進事業(ひきこもりサポート事業)を実施しております。相談会は本会の相談員、県の研修会を受講しているひきこもりサポーター、若者相談支援拠点である多機能福祉施設こもれび(以下こもれび)の相談員で対応いたしました。相談会で聞き取りした内容の状況に応じ、関係機関と情報共有を図りながら支援を検討いたしました。また、対面や電話に不安を抱える当事者に寄り添い、相談会や訪問による対面の支援に加えて、手紙、LINEによる個別性に合わせた支援を行いました。今後も自身の現在の状況に不安を抱えている方のニーズにあわせた支援を提供できるよう、対応方法を検討して参ります。

外に出ることに不安を抱える方の居場所支援として、こもれびと共同で「フリースペースひなた」を運営しました。ひなたでは、各々がやりたい事に加えて、参加者の希望によりボードゲームを行い、利用者同士交流を深めました。

② 相談会・フリースペースひなた実績

ひきこもり相談会は毎月2回(余目・立川)開催いたしました(別紙1参照)。今年度3月末時点で継続ケースは7件で、うち新規ケースは2件、終結ケースは2件でした。新規ケースの1件目は他市社協から繋がり母と面談を行い、「町内での相談は抵抗がある」との話があったため、こもれびへ繋ぎ終結となりました。2件目は継続ケースとして他相談機関や医療機関と連携し、一相談機関で抱え込まない体制の構築に努めました。ひきこもり相談会に来所される方のほとんどは当事者の母親であり、相談会では当事者の自宅での様子や日頃の思いを傾聴し、時には自宅での関わり方等の助言を行いました。

フリースペースひなたは、継続利用者がいることから今年度より毎月1回から2回(余目・立川)に増回しました。町広報と本会ホームページで毎月の周知に加えて、本会広報での周知を行い、広報を見て2名の新規利用がありました。

また、本会事業の会場準備ボランティアを当事者に協力依頼し、社会参加の場を提供したケースもありました。2名の参加があり、特技を活かして活動していただきました。

③ 調整会議実績

ひきこもり相談会では情報共有と今後の支援の方向性検討のため、関係機関を含めて協議する調整会議を4回開催いたしました。それぞれが持っている情報を共有し、各分野の専門的な見解をいただきながらケース検討を行いました。また、終結ケースなどにおいても情報共有し、フォローアップ体制の整備を行いました。

また、ケース検討に加えてより円滑な事業運営のために、サポーターの役割とひきこもり相談会の体制の明確化に向けて検討しました。相談者のニーズや課題に合わせた人員体制で引き続き相談会を運営して参ります。

参集範囲：ひきこもりサポーター、庄内町保健福祉課福祉係、健康推進係、庄内町教育委員、生活困窮者等相談支援員、地域活動支援センター、多機能福祉施設こもれば、庄内町障害者相談支援センター

◎開催実績

開催日	場所	検討内容
7月4日(火)	庄内町役場B棟2階 会議室1	・現状報告(継続ケース7件) ・令和5年度ひきこもり相談会について
11月13日(月)	庄内町役場B棟2階 会議室1	・現状報告(継続ケース6件、終結ケース1件) ・フリースペースひなた現状報告
1月18日(木)	庄内町役場B棟2階 会議室1	・現状報告(新規ケース2件 継続ケース1件) ・令和6年度ひなたについて ・福祉係より、県主催のひきこもり関係アンケート結果報告
3月21日(木)	庄内町役場B棟2階 会議室1	・令和6年度ひきこもり相談会の体制について ・現状報告(継続ケース7件)

令和5年度ひきこもり相談会相談実績

開催日	場所	件数	備考
4月11日	立川老福センター	1	
4月25日	余目老福センター	4	
5月9日	立川老福センター	1	
5月23日	余目老福センター	4	
6月13日	立川老福センター	1	
6月27日	余目老福センター	3	
7月11日	立川老福センター	1	
7月25日	余目老福センター	3	
8月9日	立川老福センター	1	
8月22日	余目老福センター	3	
9月12日	立川老福センター	1	
9月26日	余目老福センター	2	
10月10日	立川老福センター	1	

開催日	場所	件数	備考
10月24日	余目老福センター	2	
11月8日	立川老福センター	1	
11月28日	余目老福センター	2	
12月13日	立川老福センター	1	
12月26日	余目老福センター	1	
1月10日	立川老福センター	1	
1月24日	余目老福センター	3	
2月13日	立川老福センター	1	
2月27日	余目老福センター	3	
3月12日	立川老福センター	0	
3月26日	余目老福センター	3	
	合計	44	

4 庄内町地域包括支援センター事業

1. 包括的支援事業（地域包括支援センターの運営）

(1) 総合相談支援業務

表1) 相談件数（介護予防支援事業を除外）（延数）

相談 担当	相談区分		相談方法				件数
	新規	継続	電話	来所	訪問	その他	
R3 年度	347	1,584	899	256	671	105	1,931
R4 年度	355	1,696	1,069	287	621	74	2,051
R5 年度	400	1,806	1,080	267	805	54	2,206

総数 1,424 件（前年度 1,297 件）となり、R4 年度より新規相談が 45 件増えています。高齢者の心身の状況や生活の実態を把握し、身近な相談窓口として、関係者とのネットワークを構築しながら適切な保健・医療・福祉サービスの利用につなげる支援を行っています。

- ① 地域見守り会議については全地区（6 回）開催し、民生委員・児童委員との連携を推進し、ニーズや地域課題の把握に努めました。

(2) 権利擁護業務

総数 350 件（前年度 303 件）の内、困難事例対応 240 件（前年度 245 件）、高齢者虐待対応 47 件、成年後見制度関係対応 12 件となり、町と連携して対応しました。

- ① 権利擁護関連勉強会を開催し、司法書士より相続と遺言について学びました。町の担当者より成年後見制度利用支援事業について説明を受けました。参加者はケアマネジャーや民生委員など計 31 名でした。
- ② 消費者被害防止の取組として、町内の居宅介護支援事業所にメールにて月 1 回庄内消費生活センター情報紙を提供しました。また、地域見守り会議等で啓発しています。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

総数 432 件（前年度 453 件）の内、主なものとして介護支援専門員支援・相談 69 件、地域連携・協力 50 件、支援困難事例指導・助言 53 件でした。

- ① 事務局として居宅介護支援事業所等連絡会を開催し、町・地域包括支援センターからの情報提供を行い、相互に意見交換しました。
- ② 介護支援専門員等への研修会として「令和 6 年度介護保険制度改正とケアマネジメントに求められること」と題し、合同会社 介護の未来 阿部 充宏 氏に講義いただき、計 46 名が参加しました。
- ③ 町のケアプラン点検の実施に主任介護支援専門員 2 名が協力し、居宅介護支援事業のケアマネジャーと共に質の高いケアプラン作成を目指して学び合いました。

2. 包括的支援事業（社会保障充実分）

(1) 地域ケア会議推進事業

- ① 地域ケア個別会議の開催は関係機関の協力を得て 3 回開催しました。「県外から高齢期に引っ越して来た老夫婦世帯への支援」「退職して県外から実家に移住したアルコール依存症の一人暮らしの方への支援」「精神疾患のある娘さんと介護が必要になった母への支援」について話し合いました。共通する課題は「地縁血縁の希薄」「家が片付かず不衛生になっている」「経済的な心配がある」等がありました。
- ② 町が開催する自立支援型地域ケア会議では、毎回職員 2 名が参加し、高齢者が自立し

た生活を送れるように様々な専門職とともに助言を行い、会議の中で地域に必要な資源や課題を把握しました。(計8回)

(2) 認知症総合支援事業

①認知症地域支援推進員による活動

余目と立川の各センターに1名ずつ認知症地域支援推進員を配置しています。主な活動は町と協働して認知症カフェを余目地域で毎月開催し、情報提供を行いながら本人、家族を支援しています。立川地域では物忘れ相談会を毎月開催しました。町が実施する認知症サポーター養成講座にて小中学校や地域の集まりに出向き、開催に協力しました。

②認知症初期集中支援チームへの協力

町が設置する認知症初期集中支援チームのチーム員として認知症の早期発見・早期対応支援を行っています。国が実施する研修を受講し、伝達研修を行いました。

③認知症高齢者見守り事業(徘徊高齢者事前登録事業)

警察や介護支援専門員等の関係者からの依頼や相談を受け、登録手続きを支援しています。

④町が実施する高齢者徘徊声かけ訓練開催に協力し、見守り体制の構築に努めました。

(3) 生活支援体制整備事業

①地域資源や課題の把握

集落サロン等の高齢者の集まりの場を訪問し、聞き取りを行いました。聞き取りでは、移動手段確保への不安、買い物や除雪についての困りごとが聞かれ、通いの場においては、参加者の減少や担い手側から送迎対応が困難といった点があげられています。

②地域活動の支援・普及

自主組織の活動に参加しながら、参加者の様子や内容等の実態把握、買い物支援や移動支援、出前講座に関する情報提供等を行い、活動充実に向けた支援を行いました。地域の活動へ訪問した際には、支え合いの必要性の説明や、生活支援コーディネーターの活動紹介を実施しています。また、地域運営組織における地区計画策定や部会の会議等に出席し、関係づくり・情報共有を行いました。

③新たな住民主体事業にかかる団体の活動支援

地域住民による支え合い活動の理解や担い手養成を目的とした「担い手養成講座」を開催しました。全2回で参加者計36名となり、活動団体や講師による事例発表や講演を行い、受講者が活動先を検討できるよう、既存の団体からの活動紹介やチラシ配布も行いました。また、買い物支援に興味を持っていた地域運営組織に対し、後日意向確認を行いながら、組織の活動状況把握を継続しています。高齢者の社会参加、支え合い活動への地域住民の意欲向上を目的とした「助け合いの地域づくり勉強会」も開催し、参加者22名中、5名が担い手養成講座へ継続参加しています。

④情報の見える化

地域の活動情報や、生活支援コーディネーターの活動報告を掲載したおたよりを3回発行し、全町回覧、各集落の自治会長や民生委員・児童委員、各学区まちづくりセンターに配布しています。また、自立支援型地域ケア会議で感じた地域課題、これまでの聞き取りにおける地域課題のまとめを町に提出しています。

事業項目	区分	回数	内容
生活支援協議体	全体会議	1	生活支援体制整備協議体会議
	地縁団体会議	7	余目第一学区(地区計画策定委員会、地域ビジョンに係る環境・福祉分野の事業検討会)、余目第二学区(地域計画策定編集会議)、余目第三学区(菁莪のまちづくり運営協議会環境・福祉部会)、余目第四学区(地域包括ケアシステムの構築に向けた研修会)
生活支援コーディネート業務	地域実態把握	142	いきいき百歳体操実施団体(17団体)、いきいきサロン実施集落(14集落)、通所型サービスB実施団体(4団体)、まちづくりセンター事業(立谷沢、清川、狩川、余目第一・第三・第四)、木ノ沢念仏講、木ノ沢保全会、タチラボレディース、清川すずらん会、角蔵珈琲、立谷沢グランドゴルフ春期大会、はっぴいサポート、猿田ほっとカフェ、ほがらかクラブ(猿田)、和合の里を創る会、ニュースポーツ体験、ほっとひといきカフェ、通いの場実施団体交流会、各地区まちづくりセンター、町内店舗調査、買い物ニーズ調査、無印良品(酒田市)、よろずや琢成(酒田市)、よれちゃ家(三川町)
	地域活動支援普及	55	いきいき百歳体操実施団体(20団体)、いきいきサロン実施集落(5集落)、通所型サービスB実施団体(2団体)、まちづくりセンター事業(清川、第一、第四)、地域見守り会議、福祉員・民生委員意見交換会、民協定例会、生活支援活動ステップアップ講座(県講座)、助け合いの地域づくり勉強会、ニュースポーツ体験、立谷沢グランドゴルフ春期大会
	サロン等住民主体事業支援	50	いきいき百歳体操実施団体(5団体)、いきいきサロン実施集落(3集落)、通所型サービスB実施団体(3団体)、まちづくりセンター(立谷沢、清川)、はっぴいサポート、和合の里を創る会、
	生活支援サービス把握	21	生活支援民間業者サービス調査、無印良品移動販売調査、町内店舗聞き取り
多様な日常生活支援・社会参加推進	担い手養成講座	2	担い手養成講座
	地域資源発掘ワークショップ	5	助け合いの地域づくり勉強会、担い手養成講座、SC間地域課題ワークショップ

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

地域の在宅医療・介護連携の相談窓口として、医療機関やご家族から入退院時の相談を受けました。

(5) 一般介護予防事業業務

介護予防の普及啓発として、地域の老人クラブやサロンなどに出向いて保健師等が出前講座を開催しました。

3. 指定介護予防支援事業

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務

新規利用の方が年間通して105件(前年度60件)でした。

ケアプラン数は横ばい傾向になっており、直営と委託のプラン数の割合は、約38%が直営となっています。委託契約事業者は11事業所となっています。

表2) ケアプラン作成数(各月プラン料請求件数、月遅れの請求を含まず。単位:件)

	① ケアマネ ジメン トA	② ケアマネ ジメン トB	③ ケアマネ ジメン トC	④ 予防支 援 (要支 援1)	⑤ 予防支 援 (要支 援2)	① ～ ⑤ 合計	直 営	委 託	新 規
R3年度	837	235	2	523	764	2,361	1,237	1,124	80
R4年度	699	197	0	529	630	2,055	1,110	945	60
R5年度	701	191	3	568	814	2,277	862	1,415	105

5 介護サービス事業（介護サービス課）

（1）居宅介護支援事業

前年度同様、3名体制で業務を行いました。これまでと同じように地域の身近な相談窓口として、相談に迅速に対応し介護保険の申請代行から必要なサービスが円滑に利用できるように支援を行いました。また現在担当している利用者の相談や利用者の状態に応じた計画の見直しをスムーズかつ適確に行いサービス利用できるように支援しました。

コロナ感染症は、令和5年5月8日以降扱いが5類に変更になりましたが、拡大防止に努め、業務継続が図れるように情報収集を行い、行政や他のサービス事業所との連携を強化して業務に当たりました。

① 実績報告

ケアプランの作成状況としては、新規受け入れは66名（前年度35名）ありましたが、看取りの方や、施設入所となる方も多くありましたが、月平均約101件（前年度95.5件）、年間を通して68件の増となりました。介護報酬については、前年度比1,036,760円の増収となりました。

1職員当たり担当する件数は36名から41名（要支援・事業対象者を含む）と増加しています。

庄内町からの受託事業の要介護認定調査業務は毎月1人3件受入れ目標としましたが、実施したのは97件で、件数は前年度より5件減りました。予防プランの作成件数は273件で、件数としては120件増となりました。作成委託料は527,250円の増収。予防プランに関しては、庄内町地域包括支援センターからの要請があった場合は断らずに受け入れするようにし受け入れを強化しました。担当している方の同居家族の相談を受ける場合もあり、介護相談から申請など、庄内町地域包括支援センターと連絡をとりながら業務に当たりました。

② 活動報告

直接来所相談される方は少なく、事業所をより多くの方から知っていただくため、事業所紹介のチラシを町内の医療機関と庄内町地域包括支援センターに配置していただくため訪問しました。

内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で、「感染症対策について」、「高齢者虐待と身体拘束適正化について」を行いました。

外部研修はオンラインや集合形式で開催され、酒田市ケアマネージャー連絡協議会や、庄内町や庄内町地域包括支援センター主催の研修に参加し知識・技術の向上に努めました。庄内町居宅介護支援事業所事例検討会の当番として役割を担いました。

介護支援専門員実務研修における実習生の受け入れはありませんでした。

庄内町の自立支援型地域ケア会議に参加するとともに、ケアプラン点検を受けました。

年度中に閉鎖する事業所が複数あり、利用者を別の事業所に紹介しましたが、今後も中止や休止する事業所が発生する懸念があります。

③ 令和6年度にむけた課題

令和6年度から運営規程を変更し、営業日を月曜日から金曜日、土曜日曜、祝祭日は休業といたしました。休日も当番が持っている携帯に電話が転送になるようにしていますが、利用者に不便にならないように業務を行います。必要なサービスを適切に利用できるように、法令遵守、知識・技術の習得に努め相談者に寄り添う支援に努めます。

月	(1)ケアプランの作成状況 (単位:件)						(2)介護支援報酬 (単位:円)		
	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	5年度	前年度	増減
4	35	23	18	8	9	93	1,505,300	1,606,880	-101,580
5	33	29	18	8	8	96	1,482,430	1,618,210	-135,780
6	28	32	18	7	8	93	1,406,310	1,529,950	-123,640
7	29	32	22	7	7	97	1,490,740	1,517,190	-26,450
8	30	30	22	7	7	96	1,436,730	1,417,780	18,950
9	31	28	22	8	7	96	1,518,950	1,502,560	16,390
10	34	29	24	8	7	102	1,605,420	1,550,790	54,630
11	40	32	24	9	6	111	1,700,080	1,506,220	193,860
12	40	27	23	11	5	106	1,620,680	1,468,830	151,850
1	45	25	19	12	6	107	1,608,610	1,387,200	221,410
2	47	24	20	12	5	108	1,696,430	1,306,790	389,640
3	48	23	22	12	4	109	1,721,410	1,343,930	377,480
計	440	334	252	109	79	1,214	18,793,090	17,756,330	1,036,760
前年	472	217	217	148	92	1,146			

月	(3)要介護認定調査委託料 (単位:円)				(4)予防プラン委託料 (単位:円)				(5)住宅改修支援 (円)	
	件数	5年度	前年度	増減	件数	5年度	前年度	増減	件数	委託料
4	9	39,600	26,400	13,200	14	59,660	47,652	12,008	0	0
5	8	35,200	52,800	-17,600	14	56,810	53,352	3,458	0	0
6	7	30,800	30,800	0	18	85,557	49,799	35,758	0	0
7	4	17,600	39,600	-22,000	24	118,370	59,660	58,710	0	0
8	9	39,600	35,200	4,400	26	118,142	49,799	68,343	0	0
9	9	39,600	39,600	0	27	104,595	45,638	58,957	0	0
10	7	30,800	39,600	-8,800	25	99,123	41,477	57,646	0	0
11	10	44,000	39,600	4,400	25	96,273	51,338	44,935	0	0
12	8	35,200	26,400	8,800	25	114,684	41,477	73,207	0	0
1	7	30,800	39,600	-8,800	25	97,584	41,477	56,107	1	2,000
2	9	39,660	39,600	60	23	90,801	76,532	14,269	1	2,000
3	10	44,000	39,600	4,400	27	97,812	53,960	43,852	0	0
計	97	426,860	448,800	-21,940	273	1,139,411	612,161	527,250	2	4,000
前年	102				153				0	

(2) 訪問介護事業

常勤3名(内サービス提供責任者2名)、非常勤ヘルパー7名で直接利用者宅に訪問し、支援を必要としている方の心身の状況に応じたサービスを提供しました。個々のアセスメントを十分に行い有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように生活全般を支援しました。

① 実績報告

介護保険の訪問介護は利用人数、前年度比6名の増となりました。要介護の利用においては、身体介護の1時間の訪問が毎月増えており、又、生活援助の1時間の訪問においても毎月増えております。介護報酬は2,441,525円の増収となりました。

庄内町からの受託事業の介護予防・日常生活支援総合事業の利用者数は従前相当においては月平均16名で前年度より5名増えております。総合Aでは月平均7名で前年度より2名減っております。前年度比321,787円の増となりました。

障害者居宅介護事業は利用人数が6名増え490,590円の増となりました。一人ひとりの状態や希望に合わせたサービスを行っております。

同行援護事業は12,410円の減収となりました。利用人数は前年と同じ2名で体調に合わせて支援しております。状況、状態に合わせて適切なケアを行う上で利用者、家族との信頼関係を築き利用者増へとつなげました。

② 活動報告

利用者一人一人が、その方らしい生活を続けられるよう各担当職員を中心に、利用者の日々の様子や関りから小さな変化においても、関係機関と連携を図りサービスの提供を行いました。

障害者居宅介護事業では、介護者からの要望に相談支援員と連携を図りサービス内容を見直し、必要なサービスを行いました。

内部研修としては、介護サービス課の研修委員会を中心に年2回の内部研修で「感染症対策について」行い実際に防護服の着脱を繰り返し行い、シュミレーションを想定した研修を行いました。「高齢者虐待(身体拘束を含む)について」も意見交換を行いました。

その他に、訪問介護係として介護サービスの質の向上を目的として常勤ヘルパー、非常勤ヘルパー共に月1回会議を開催し情報共有を行いました。

③ 令和6年度にむけた課題

訪問介護員の人材不足と、利用者確保を大きな課題となっております。配布するパンフレットの記載内容の見直しを行い、イベントへの参加、ホームページ、広報への記載、居宅介護事業等への訪問を行いより多くの方から興味を持って頂くように努めたいと思います。

(1)介護保険及び居宅介護利用人数に関する調査

(単位:人)

	介護保険利用人数				指定居宅介護等利用人数				利用者 総数
	訪問介護	総合事業 (従前相当)	総合事業 (A型)	合計	身障居宅 介護	知的居宅 介護	同行援護	合計	
4月	37	15	8	60	9	0	2	11	71
5月	38	12	8	58	9	0	2	11	69
6月	38	12	7	57	10	0	2	12	69
7月	40	13	7	60	9	0	2	11	71
8月	34	14	7	55	9	0	2	11	66
9月	35	16	6	57	9	0	2	11	68
10月	36	17	6	59	10	0	2	12	71
11月	41	18	6	65	10	0	2	12	77
12月	45	17	6	68	11	0	2	13	81
1月	45	16	5	66	11	0	2	13	79
2月	44	18	6	68	12	0	2	14	82
3月	47	21	6	74	11	0	2	13	87
合計	480	189	78	747	120	0	24	144	891
前年	408	137	104	649	117	0	23	140	789
増減	72	52	-26	98	3	0	1	4	102

(2)事業収入に関する調査

(単位:円)

	介護報酬		利用者負担金		障害福祉		収入計
	訪問介護	総合事業	訪問介護	総合事業	身障居宅介護	同行援護	
4月	1,361,024	333,069	149,289	31,634	142,670	53,910	2,071,596
5月	1,651,249	270,573	167,098	26,467	152,350	56,880	2,324,617
6月	1,208,369	208,903	171,563	27,017	149,510	50,230	1,815,592
7月	1,751,056	291,426	187,794	28,784	138,560	46,890	2,444,510
8月	2,078,745	337,694	210,823	27,076	117,900	44,970	2,817,208
9月	1,594,599	304,980	209,759	30,290	110,630	33,280	2,283,538
10月	1,527,854	305,547	151,573	30,353	162,620	46,890	2,224,837
11月	1,677,797	280,814	163,100	33,080	208,390	49,920	2,413,101
12月	1,958,604	305,591	187,562	30,405	250,090	55,860	2,788,112
1月	1,852,687	262,499	187,640	28,331	243,820	44,570	2,619,547
2月	2,028,450	290,590	195,599	33,963	261,530	55,860	2,865,992
3月	1,965,664	295,065	193,996	32,785	256,780	57,110	2,801,400
合計	20,656,098	3,486,751	2,175,796	360,185	2,194,850	596,370	29,470,050
前年	18,244,573	3,164,964	2,093,714	320,085	1,703,900	608,780	26,136,016
増減	2,411,525	321,787	82,082	40,100	490,950	-12,410	3,334,034

6 障害福祉サービス事業（障害者多機能型施設ひまわり園）

○ 概 要

利用者の個々のニーズに合った、きめ細やかなサービスの提供を目的に、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）に基づき、障害者多機能型施設として運営しております。

令和5年度においては、コロナの影響で外部での行事は取り入れず、感染対策を行いながら園内行事を実施し、利用者の活動が限定的なものにならないよう配慮しました。

また『庄内町障害者相談支援センター』との連絡、調整を図り、迅速な情報収集、潜在ニーズ把握等に努め、円滑な施設運営をおこなっております。

各事業、各活動に関わる利用者の特性を活かし、自立にむけて日々様々な活動をおこない、個々の適性にあった支援をおこなっております。

さらに、旧シルバー跡地を活用し、菓子売り場設置等を含む増改築について、有識者と意見交換をしながら計画した「小さな想いをつなぐ“ひまわり”プロジェクト～ここから始まる100年ものがたり～」として、「第3回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」に応募しましたが、二次審査で不採択となり、最終審査に臨めませんでした。

○ 報 告（事業別）

（1）生活介護事業

地域生活を営むうえでの生活能力と作業能力の向上を目的に支援を実施いたしました。心身の支援として個別の機能訓練も実施し、身体機能低下の防止のための直接的支援や多事業所との連携、医療機関との連携にも力を入れました。レクリエーションの充実を図り、季節ごとの行事や活動を取り入れ、一人ひとりが楽しみながら活動に参加することができました。また、利用者が安全に過ごせるよう事故防止対策を常に意識し職員間で情報共有し改善に努めました。

事 業	内 容
コミュニケーション訓練	挨拶、会話、公共マナー、漢字・計算練習（希望者）
日常生活訓練	感染予防のための手洗い、掃除・整理整頓、金銭の使い方、買い物実習、調理実習
作業活動訓練	木工、雑巾縫い、園芸、畑作業、畑の肥料作り 受注作業訓練…木工ケース・木工トレーの研磨 （日本モッキ、ウッドマイスターより請負） ダンボール受注作業
月間レクリエーション活動	利用者の誕生日会、初詣、お花見、ドライブ、七夕会、水遊びレク、ミニ運動会、柿の渋抜き体験、ハロウィンパーティー、クリスマス会、書初め、節分、ひな祭り会、アロマセラピー（手浴、ハンドマッサージ）
個別機能訓練	運動機能低下防止運動、身体機能低下予防、関節可動域訓練、嚥下体操、作業療法（手指、精神）、化粧療法 創作活動（月ごとにテーマあり）脳トレ
週間レクリエーション活動	水・木 実施

(2) 就労移行支援事業

一般就労に向けて事業所内および企業等で実習を行い、適性に合った職場探しや就労後の職場安定の支援を実施いたしました。また、Word、Excel のパソコン講習受講やアビリンピックへの参加（製品パッキング）を通して、就労技術の習得と新たな可能性を引き出す支援にも取り組み、アビリンピックでは技能賞を受賞しました。

令和5年度は、就職者2名、企業実習は1社で実施いたしました。

企業実習

(企業名敬称略)

協力企業名	実習内容	期間
株式会社セリア	品出し	R5.11月 10日間

作業活動

木工トレー・木工ケースの研磨（日本モッキ、杉山木工より請負）
 段ボール組み立て 株式会社日本アビリチーズ社
 賞味期限の印字（ハナブサ醤油）

就労支援

支援項目	支援内容
コミュニケーション 社会マナー訓練	実習に行く際の挨拶、職場でのマナーを実際の現場を想定し練習、座学を実施。 挨拶練習リストをつくり、大きな声での挨拶練習を実施。
他機関連携	ハローワークを利用し、求人検索・就職相談を実施。 庄内障害者就業・生活支援センター・庄内町保健福祉課と連携して就労支援を実施。
相談支援	日常生活・就労に関して利用者からの訴え、また園内生活で問題がある場合等、個別に面談し、助言・支援を行った。

(3) 就労継続支援（B型）事業

事業所内で就労および生産活動の機会を提供し、能力の向上や維持を目的に支援を実施いたしました。今年度は、多くのバザーへの販売に出展させていただき、ひまわり園のお菓子を多くの方に広める機会に恵まれました。原材料費高騰の中、昨年度以上の売り上げには至りませんでした。それに近い売り上げがありました。また、関係機関の皆様からは、「お菓子の定期便」を継続して購入していただいております。これらのお陰で、新規のお客様からの注文もあり、今年度の売り上げに繋がったと感謝しております。今後も利用者の衛生・安全管理を徹底し「おいしい・安心・安全」な商品製造を進めてまいります。

受注活動

(企業名敬称略)

	活動内容	協力企業名
継続活動 (前年度より)	漬物シール貼り	(株)マルハチ
	きんちやく結び	ハナブサ醤油(株)
	せんべい包装作業	(株)酒田米菓
	コア（電子部品）の組み立て・分解作業	株式会社 ウエノ

	書類の封詰め宛名貼り作業	庄内町保健福祉課
	庄内町高齢者世帯除雪作業	
	出荷梱包検査	㈱桜本製作所

菓子製造・販売活動

- ・ 庄内町、庄内地域の地域資源を活用した菓子製造
- ・ 各種バザー販売への参加

酒田市役所バザー（年3回）・庄内支庁販売（年3回）・庄内町 sun*sun バザー（年3回）・しょうない秋まつり販売・松山いきいきクラブ「満福市」（年7回）・まちサロン八幡（年5回）・酒田市立保育園販売（毎月）・こしゃたなマルシェ（風車市場、SAKATANTO、鶴岡南高等学校）・松山健康福祉フェア・総合表彰式販売・立川庁舎オープニングイベント・新春を祝う会・じろで庄内・酒田河川国道事務所・18 マルシェ 等

(4) 就労定着支援事業

福祉サービスを利用し、就職した方に対し、企業等に訪問し安定して就労できるように、企業との連携、本人への助言等を実施しました。

支援した事業所

- ◎山水園小規模多機能型居宅介護事業所 ◎菅原冷蔵㈱ ◎(有)佐藤クリーニング
◎㈱平田牧場本社◎日本海総合病院◎ハナブサ醤油㈱◎特別養護老人ホーム山水園

(5) 地域活動支援センター事業

生活支援員2名を配置し1日10名を定員として庄内町在住の障がいをお持ちの方や医療機関を受診している方などを対象に、自宅を出て活動する場所として事業を展開いたしました。

利用ケースとしては、離職して次の仕事、利用するサービスが決まるまで活動場所が欲しいと言った方等が利用されており、柔軟な支援を実施しております。

○令和5年度利用実績（単位 人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数	69	51	67	61	59	61	69	62	66	58	58	69	750
実人数	10	11	12	9	11	9	9	10	10	8	10	9	118
令和5年度 平均利用者数	3.5	2.6	3.0	3.0	2.7	3.0	3.3	3.1	3.3	3.1	3.1	3.5	3.1
令和4年度 平均利用者数	3.4	3.5	3.0	4.6	4.0	4.2	3.3	3.7	3.4	3.5	3.8	3.7	3.6

○令和5年度活動内容

項目	内容
交流活動	ひまわり園の受注作業や、花などの作業交流を実施。
相談支援	個別で相談がある場合は、面談実施。必要に応じて庄内町障害者相談支援センター、指定相談支援事業所と連携して支援実施。
創作活動	クラフトテープを使ったかご作り、新聞エコバックづくり、塗り絵・切り絵、ガーデニング用品作成、スケッチなどを実施。
その他	タブレットを利用した脳トレ、図書館に本を借りに行く活動等も実施。

(6)「第3回日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」について

- ・有識者との打合せ：4回 4月24日、8月1日、8月21日、9月4日
- ・ひまわり園職員ワークショップ：1回 5月25日
- ・申請日：令和5年9月15日
- ・申請結果：令和5年10月 一次審査通過、同12月 二次審査不採択

○今後の課題

就労移行支援については、就職等で欠員となった利用者の確保が困難であり、慢性的な利用者不足であるため、令和6年5月1日から休止することとし、本事業の存続に関して令和6年度中に検証する必要があります。同時に、収入減を補うため、就労継続支援（B型）事業の定員増（5名）を行い、運営の安定化を目指します。生活介護事業についても、定員の充足を目指します。

また、園内の手狭問題により、引き続き、隣地の旧シルバー跡地を活用させていただけるよう町に働きかけ、活用できる補助金・助成金を十分に利用しながら増改築を行えるよう検討してまいります。

加えて、外部からの受注作業の減少・不安定化が目立ち始め、工賃向上のため、新たな受注作業等の発掘・取組みや、お菓子の新たな販売先の開拓についても推進します。

令和5年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧 (利用状況)

年月	利用日数	生活介護				就労移行				就労継続			
		利用者数	延利用日数	利用率(R5)	利用率(R4)	利用者数	延利用日数	利用率(R5)	利用率(R4)	利用者数	延利用日数	利用率(R5)	利用率(R4)
5.04	20	9	162	81.0%	71.5%	2	39	32.5%	100.0%	15	280	93.3%	96.7%
5.05	20	9	168	84.0%	69.5%	2	40	33.3%	106.1%	15	285	95.0%	93.7%
5.06	22	9	177	80.5%	66.4%	2	42	31.8%	92.4%	15	324	98.2%	87.0%
5.07	20	9	161	80.5%	77.0%	2	37	30.8%	97.5%	15	293	97.7%	88.3%
5.08	22	9	162	73.6%	66.4%	2	35	26.5%	81.8%	15	297	90.0%	80.3%
5.09	20	9	167	83.5%	71.5%	2	28	23.3%	90.0%	15	293	97.7%	90.7%
5.10	21	9	163	77.6%	60.0%	2	37	29.4%	80.8%	15	305	96.8%	75.7%
5.11	20	8	143	71.5%	75.5%	1	20	16.7%	56.7%	15	278	92.7%	90.7%
5.12	20	8	149	74.5%	72.5%	1	4	3.3%	53.3%	15	261	87.0%	94.3%
6.01	19	8	138	72.6%	70.5%	0	0	0.0%	40.4%	15	258	90.5%	87.0%
6.02	19	9	162	85.3%	74.7%	0	0	0.0%	49.1%	14	232	81.4%	93.0%
6.03	20	9	173	86.5%	75.0%	0	0	0.0%	50.0%	14	259	86.3%	95.5%
計	243	105	1,925	79.2%	70.8%	16	282	19.3%	75.0%	178	3,365	92.3%	89.3%

※ 利用率=(契約者延べ利用日数)÷(営業日数×定員数)

令和5年度 障害者多機能型施設ひまわり園 実績一覧（工賃支給）

年月	工賃【生活介護】			工賃【就労移行】			工賃【就労継続】		
	金額	令和5年	令和4年	金額	令和5年	令和4年	金額	令和5年	令和4年
5.04	5,750	639	1,022	18,127	9,064	6,188	269,640	17,976	17,091
5.05	4,088	454	362	15,326	7,663	3,955	274,455	18,297	16,554
5.06	3,572	397	323	11,990	5,995	4,126	283,500	18,900	17,241
5.07	6,344	705	979	17,652	8,826	4,782	282,159	18,811	16,733
5.08	5,934	659	973	12,942	6,471	6,745	259,875	17,325	15,919
5.09	7,319	813	371	31,650	15,825	3,828	282,159	18,811	17,175
5.10	3,747	416	439	11,236	5,618	6,860	279,685	18,646	16,863
5.11	8,887	1,111	804	3,987	3,987	5,137	264,220	17,615	17,175
5.12	7,384	923	1,376	896	896	8,339	248,175	16,545	16,678
6.01	6,415	802	1,103	0	0	7,759	256,916	17,128	16,170
6.02	3,508	390	1,079	0	0	6,254	257,326	18,380	16,430
6.03	3,965	441	782	0	0	6,091	252,070	18,005	16,863
臨時	-	-	-	-	-	-	1,222,238	87,303	124,718
計	66,913	637	801	123,806	7,738	5,575	4,432,418	26,674	27,489

※ 平均額 = (収入額 - 諸経費) ÷ 契約者数

令和5年度 障害者多機能型施設ひまわり園 地域活動支援センター 実績一覧（利用状況）

年月	利用日数	地域活動					
		定員数	利用者	延営業日数	延利用日数	利用率(R5)	利用率(R4)
5.04	20	10	10	200	69	34.5%	34.0%
5.05	20	10	11	200	51	25.5%	34.7%
5.06	22	10	12	220	67	30.5%	30.0%
5.07	20	10	9	200	61	30.5%	46.5%
5.08	22	10	11	220	59	26.8%	40.5%
5.09	20	10	9	200	61	30.5%	42.0%
5.10	21	10	9	210	69	32.9%	33.5%
5.11	20	10	10	200	62	31.0%	37.0%
5.12	20	10	10	200	66	33.0%	34.5%
6.01	19	10	8	190	58	30.5%	35.3%
6.02	19	10	10	190	58	30.5%	37.9%
6.03	20	10	9	200	69	34.5%	37.3%
計	243			2,430	750	30.9%	36.9%

※ 利用率 = 登録者延べ利用日数 ÷ (営業日数 × 定員数)